

【現状】

福島ロボットテストフィールドや東日本大震災・原子力災害伝承館など拠点の整備が進んでいるほか、福島イノベーション・コースト構想推進機構による産業集積や人材育成、交流人口拡大などの取組が本格化。

構想の具体化に向け、今月策定した「イノベ構想を基軸とした産業発展の青写真」、「重点推進計画」に掲げられた取組について国や市町村等と一層連携を強化し推進していく必要。

これらの取組により、浜通り地域等に新たな産業基盤を構築するとともに、その効果の福島県全域への波及を目指す。

今年度の主な動き

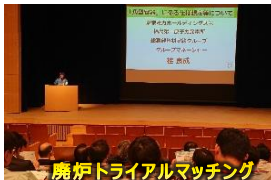
研究開発の推進及び産業集積の促進



固定翼ドローン試験飛行



スマート農業・畜産業フェア



廃炉トライアルマッチング

構想を支える教育・人材育成



企業による高校生ワークショップ



大学による教育研究活動



福島復興学ワークショップ

浜通り地域等への交流人口の拡大及び生活環境の整備促進



子ども向けワークショップ



オーダーメイドツアーの実施



Pepperを使った情報発信

拠点の整備及び運営への支援



福島ロボットテストフィールド一部開所



推進体制基盤の強化



イノベ機構と東邦銀行との連携協定

【R2当初・R1補正予算案の関連事業及びR2税制改正（主なもの）】凡例：政府予算案計上額（R元当初予算額）

研究開発の推進及び産業集積の加速化

＜廃炉・放射線関係＞

- ・「東京電力(株)福島第一原子力発電所の廃止措置等研究開発の加速プラン」の実現
【文部科学省】42.49億円 (44.6億円)
【経済産業省】169.0億円 (R1補正)
- ・廃炉・汚染水対策事業

＜ロボット関係＞

- ・ロボット・ドローンが活躍する省エネルギー社会の実現プロジェクト
【経済産業省】40.0億円 (36.0億円)

＜エネルギー関係＞

- ・未利用エネルギーを活用した水素サプライチェーン構築実証事業
【経済産業省】141.2億円の内数 (162.7億円の内数)
- ・福島県における再生可能エネルギーの導入促進のための支援事業費補助金
【経済産業省】40.0億円 (84.8億円)

＜農林水産関係＞

- ・先端農林業ロボット研究開発事業
【農林水産省】1.4億円 (1.4億円)

＜全般＞

- ・地域復興実用化開発等促進事業
【経済産業省】57.0億円 (57.0億円)
- ・福島再生加速化交付金
【復興庁】791億円の内数 (890億円の内数)
- ・自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金
【経済産業省】制度拡充
- ・津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金
【経済産業省】制度拡充

＜税制改正＞

- ・福島イノベーション・コースト構想の推進に係る課税の特例（復興・創生期間後）【復興庁】

※適用期限や措置率等の特例措置の具体的内容については、復興の進捗状況を踏まえ、令和3年度税制改正において改めて要望を行う。

構想を支える教育・人材育成

- ・福島イノベーション・コースト構想等を担う人材育成に関する事業
【文部科学省】3億円 (3億円)
- ・大学等の「復興知」を活用した福島イノベーション・コースト構想促進事業
【文部科学省】4億円 (4億円)

浜通り地域等への交流人口の拡大及び生活環境の整備促進

- ・【再掲】福島再生加速化交付金（原子力災害情報発信等拠点施設等整備事業）
【復興庁】791億円の内数 (890億円の内数)

拠点の整備及び運営への支援

- ・福島イノベーション・コースト構想推進基盤整備事業（福島ロボットテストフィールド）
【経済産業省】10.2億円の内数 (9.3億円の内数)
- ・【再掲】福島再生加速化交付金（原子力災害情報発信等拠点施設等整備事業）
【復興庁】791億円の内数 (890億円の内数)
- ・原子力に関する国民理解促進のための広聴・広報事業（原子力災害等に関する情報発信・研修事業）
【経済産業省/資源エネルギー庁】7.2億円の内数 (新規)

推進体制基盤の強化

- ・【再掲】福島イノベーション・コースト構想推進基盤整備事業
【経済産業省】10.2億円の内数 (9.3億円の内数)